

原子炉利用研究者グループ総会議事録

日時：平成 31 年 2 月 13 日(水) 12:15～12:45

場所：京都大学複合原子力科学研究所 事務棟大会議室

出席者： 12 名

(名古屋大学) 瓜谷 章、(日本原子力研究開発機構) 山根 祐一、
(日本原子力研究開発機構) 大場 洋次郎、(京大複合研) 中島 健、齊藤 毅、堀 順一、
伊藤 大介、日野 正裕、櫻井 良憲、田中 浩基、川口 昭夫、(事務局) 鶴田 八千世

渡辺 賢一代表幹事(名古屋大学)が欠席のため、櫻井総務担当幹事が下記、報告及び議事進行を行った。なお予算に関する議事内容の詳細については、同年 1 月 28 日に開催された原子炉利用研究者グループ幹事会(以下、原子炉利用者幹事会)議事録に記載されている。

議題：

1. 平成 30 年会計報告

平成 30 年 (H30.1 – H30.12) の会計について説明があり、会計監査結果について問題無いことが報告された。

2. 平成 31 年予算案

平成 31 年 (H31.1 – H31.12) の予算について説明があり、予算案が認められた。

ここで原子炉利用者グループ幹事会においても議論となった、毎年の繰越金の減少について(今後 5 年程度で 0 になる可能性がある)も報告された。

繰越金を使い切った後は所からの援助を受ける等も含めて、幹事会で検討することとした。

3. 名誉会員の推薦について

名誉会員の推薦について報告があった。名誉会員候補の確認を行い、加入脱退の仕組みを整えること等、幹事会で確認することとした。

4. その他

研究所の名称が原子炉実験所から複合原子力科学研究所に変わった。そのため原子炉利用研究者グループの名前を変える必要はないか?との発言があった。

これについては、まず幹事会ではかり、次回総会で決めることとした。

以上